

平成23年度 企業間等連携支援事業（Aタイプ） 岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会（岩手県）



「2011全国通訳案内士地域連携研修in白石・蔵王」 実施事業」

【事業目的】

昨年は東北地方における初の全国の通訳案内士の地域連携研修を岩手県内で行い、地域の観光関連業者との連携により、新製品・新観光ルート等のイノベーションが生まれるなど、東北地方での観光産業活性化の糸口が見出された。本年は会場を宮城県に移し、地元観光業者との懇談等による連携を通じて、観光資源をいかにして成果に結び付けるかの解決法を探り、もって地域の観光産業に新しいセンスを導入し、活性化を図ることを目的とする。

【事業実施状況】

「2011全国通訳案内士地域連携研修in白石・蔵王」
平成23年11月23日（水）～24日（木）

- ・宮城昭守氏日本刀鍛錬所見学
- ・遠藤まし子氏白石和紙工房見学
- ・白石城見学
- ・鎧着付け体験
- ・みやぎ蔵王こけし館見学
- ・白石温麺工場見学

【成果・今後予想される事業効果】

- ・「観光客からの目で地域の観光資源」の課題が明らかになった。
- ・白石・蔵王地域の観光関連業者との連携により、新製品・新観光ルート等のイノベーションが生まれた。
- ・通訳案内士同士の情報交換や連携による誘客活動が活性化された。
- ・ホスピタリティ向上による魅力ある観光産業が創出された。
- ・東日本大震災の被害を目の当たりにし、観光復興のためにも通訳案内士が果たすべき役割が有ることを知った。
- ・本事業を継続するためにも来年は山形県ないし被災地を含む岩手県・宮城県を会場として開催したい計画が出た。

本事業の主催者である「岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会」会員有志と今回の研修参加者含めて11人から構成される「街歩きガイドグループあんだんて」が2011年12月に結成された。会の目的は仙台などの都市の「街歩きツアー」の実践ガイド活動である。この試みは2011年10月よりJR東日本とのタイアップで先行しており、活動の一端が河北新報2011年11月1日付夕刊記事に掲載された。